

日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
第40回全国研究大会

— 大会テーマ —

リカバリーを支える実践の
深化と**継承**

～ 四十にして惑わず ～

2026年
12月13日(日)

9:20～16:10

— 開催形式 —
オンライン開催

大会長挨拶

大会長 山本由紀

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 ASW実践の深化を目指す～40周年を記念して～

本協会は今年40周年を迎えます。全国研修会では記念企画として「窪田援助論の継承」を2回にわたって開催、創立期に大きな影響を受けた窪田暁子先生の教えを今の時代に振り返りました。

これに続き、今年度の全国研究大会は40周年記念企画第3弾。テーマは「リカバリーを支える実践の深化と継承」です。継承してきたものを、複雑化し変化の激しい今の時代のニーズにどう深化させているか、その先未来にどう展開させゆくか。これを探索すべく多くの現場の先陣者がその実践知をそれぞれ披露しあい、対話を重ねるプログラムを作り込みました。40年の時を経て、大切なことはもう惑わない、それを時代の波に惑いつつ変容・再構成させながら実践を展開する、そのような決意につながる大会にしたいと思います。

昨今の都市部の宿泊事情を勘案し、40周年となる今回の大会は全国からできるだけ多くの会員・非会員の皆様に参加してもらいたいと、オンライン開催にいたしました。

どうぞ皆様、奮ってご参加ください。

メインシンポジウム

VUCA時代のアディクション支援 ー複雑化する課題に求められるソーシャルワーク実践とはー

VUCAとは「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味する造語です。社会福祉のニーズが多様化・複雑化していることもあり、依存症やアディクションの形も支援も急速に変化しつつあるVUCA時代に求められるものは、科学的な知識と実践の溝を埋める臨床の知、実践知ではないでしょうか。

ASW協会40周年を機に、ソーシャルワーカーがトラディショナルな方法を継承しつつ、社会のニーズを反映した容赦ない現場の状況と、その実践知をお話いただき、ソーシャルワークの臨床的役割について議論したいと思います。

司会・コーディネーター

山本由紀（国際医療福祉大学/遠藤嗜癖問題相談室）

①断酒ー減酒支援の狭間に立ち会う

小仲宏典氏（藤井クリニック）

②トラウマ・生きのびるためのアディクションに並歩する

白石玲子氏（アパリクリニック）

③オンライン時代“スマホの中にある依存症”に立ち会う

内藤千昭氏（西山クリニック）

④私を隠さない～当事者性が拓く支援

増田貴久氏 精神保健福祉士

タイムスケジュール



9:00～

参加者入室可能



9:20～9:30

開会式



9:30～12:00

シンポジウム



12:00～13:00

休憩



13:00～16:00

分科会1～3



16:00～16:10

閉会式

分科会 (選択制・当日の移動不可)

分科会

1

病院を飛び出したソーシャルワーカーの生存戦略 -地域のリアルな実践-

アディクションに関する臨床や研究に従事してきた県立広島大学の朝比奈寛正を座長に、医療機関で依存症支援を経験した4名のソーシャルワーカーが、「なぜ医療から地域へ移ったのか」「枠にはまらないソーシャルワーク実践」「やりたいことを実現するには」をテーマに座談会を行う。地域で依存症支援に取り組む意義や現状・課題を振り返り、これからの支援の展望と、それぞれの活動への思い・ビジョンを語る。

座長

朝比奈寛正 (県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 講師)

シンポジスト

岸田真樹氏 (特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご北大阪)

齊藤健輔氏 (一般社団法人そわか 東北支部理事)

桑原主税氏 (一般社団法人Saa-Ya/地域活動支援センターじゃすぴあ 九州沖縄支部理事)

東谷洋平氏 (特定非営利活動法人リカバリー 北海道支部理事)

分科会

2

リレー形式で学ぶ

～令和女子の生きづらさを応援する作戦会議 困難女性支援新法をふまえて～

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(困難女性支援新法)とは…令和6年4月1日施行。困難な問題を抱える女性支援の根拠法を売春防止法から脱却させ、民間団体との協働といった視点も取り入れた新たな枠組みを構築した法律。アディクション視点から困難女性支援新法についての解説と、4名の登壇者が架空の女性クライアントに対し、リレー形式で一貫したサポートを行う方法について語り、「作戦会議」と称してグループで自由な意見交換や、事例検討を行います。男性のご参加も大歓迎です。

司会:コーディネーター

小俣園子 関東甲信越支部理事

登壇者

支援の扉①医療

熊谷仁実氏 (医療法人春陽会 慈恵中央病院)

支援の扉②心理

喜多村真紀氏 (国立精神・神経医療研究センター
医療法人社団アパリア アパリアクリニック)

支援の扉③中間施設

棚原可奈子氏 (サポートセンター オ'ハナ)

支援の扉④生活支援施設

橋本久美子氏 (母子生活支援施設 ポルテあすなろ)

ファシリテーター

関東甲信越支部会員・中部北陸支部会員

分科会

3

葛藤を力に変えるソーシャルワーカーのセルフサバイバル

依存症支援も時代とともに変化しています。強い熱意のもと、何も無いところから支援や資源を確立させてこられた特別な人から、特別ではない私たちがどう継承していくのか。誰か一人が受け継ぐのでは負担が大きく、汎化させれば理念が薄まってしまう。所属機関の業務だけをこなすのではなく、現状の業務以上のことをすることも難しい。こういった葛藤を持ち寄り、話題提供者の語りを触媒に、参加者との対話を通して深めていき、葛藤を苦しいものとしてだけで終わらず、エネルギーにしていける時間になりたいと思います。

司会

小仲宏典 (藤井クリニック)

登壇者

亀ノ上美郷氏 (新阿武山病院)

佐藤周氏 (滋賀県立精神医療センター)

岡崎こず枝氏 (岡山精神科医療センター)

申し込み

以下フォームもしくは二次元コードよりお申し込みください

<https://j-asw-40th-2026.peatix.com>



受付期間 令和8年12月7日(月)まで

参加費



会員
3000円



非会員
4000円



学生
1500円

※本協会の会員には準会員が含まれます

※本年12月6日(日)付までに入会基準を満たし入会申請された方は会員扱いとします

後援団体

- 日本精神保健福祉士協会
- 日本社会福祉士会
- 日本医療ソーシャルワーカー協会

- 日本ソーシャルワーカー協会
- 日本スクールソーシャルワーク協会
- 日本学校ソーシャルワーク学会

お問い合わせ



〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町15-7ライブリーYSビル302号

遠藤嗜癖問題相談室

ASW協会大会事務局 藤本 小野寺

MAIL

asw40th.jimukyoku@gmail.com